

# 分かち合おう、奉仕の世界

……これが、わたしのロータリー……



3つの目標

- (1)例会を大切にしよう
- (2)委員会活動を大切にしよう
- (3)10周年を心に残る年にしよう

会長 新藤 信之

〈例会の充実〉

〈委員会の活性化〉

〈10周年の成功〉

幹事 野村 勝久



本年度のハーバード・G・ブラウンRI会長は3つのテーマ：① Act with integrity（真心の行動）② Serve with love（慈愛の奉仕）③ Work for peace（平和に挺身）を掲げました。これは自らのロータリー50年間の奉仕活動の体験の中から、ロータリアンとしての基本的な心のあり様、行動のあり方そして行動目標を示したものです。ブラウン会長がロータリアンとして歩んで来たこの半世紀は、第2次世界大戦は終結したものの、東西冷戦による戦争の脅威や南北格差からくる特に人道的な諸問題が山積していた時代でした。このような時代背景の中で、ロータリーは、財団を充実させ、それが3H運動、ポリオプラス運動等となって展開されました。国際協議会でブラウン会長が夢を持つことの大切さを説き、「平和な世界」「ポリオのない世界」「すべての人達が平等で、人間としての尊厳を保ち、お互い慈愛に満ちあふれた世界」を実現させたい、と熱く語ったといわれますが、これはまさに、我々ロータリアン共有の夢であり、まだまだ互いに切磋琢磨し、それぞれの場、家庭・職場・地域社会・国際社会で真摯に生きつづけることへの我々の誓いでもあるのです。

さて、東京立川こぶしロータリークラブは創立10周年を迎えます。今年度を、過去の10年そして次の10年の節目と位置付けますと、この1年は大変大切な年になると確信すると同時にその重責と使命を痛感致します。村上初代会長のご指導のもと、クラブ創設に参加したあの時の初心に帰り、今一度、会員の皆様と共に情熱を傾け、あの心踊るような新鮮な体験を味わいたいと願います。

みんなで「ロータリーの原点に帰る」という意味で、先ず自クラブの例会に出席し、隣合った人と「夢」や「想い」を語り合いましょう。クラブ奉仕の各々の委員会は例会を充実すべく、いろいろと工夫を凝らしています。特に今年はクラブ内同好会をみんなの参加と協力で大きく育て、家族や友達や他のクラブの人まで交え、親睦の輪を広げたい。次に、対外的奉仕活動は担当委員会だけでなく、みんなが支えるかたちで全員参加型の奉仕活動を展開したい。そして1年間の諸事業を1つ1つ実行に移すなかで、会員相互の意見を交換し合い、勇気と信念を以て継続すべきか、見直すべきかを見極め、こぶしクラブの21世紀に向けての奉仕の姿を模索し、方向を見出すことができたらと思う。そして最後に、一人ひとりが素朴に謙虚に「何をするためにロータリークラブに入会したのか」と自問し、そして1年を通じて独自の「奉仕の世界」を見つけ、作り出してほしい。「これが、私のロータリー」と……。

一人ひとり生き様は異なっても、ロータリアンとしての想いは共有するものがあるはず。お互いの想いを理解し合い、それを分かち合うことができたら素晴らしいと思う。

最後になりましたが、今年が10周年として心に残る年となり、よりよいクラブとなるよう、会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。